

令和7年度 札幌市民憲章実践者表彰 受賞者のみなさま

◆団体（11団体）

おはなしぐるーぷ・ハッチ 様

「おはなしぐるーぷ・はっち」は、平成18年にはちけん地区センターで実施された「読み聞かせボランティア養成講座」の受講生で結成され、老人施設や西野地区センターなど、依頼に応じて様々なおはなし会を実施してきました。

現在は、結成以来続けている高齢者・子ども向けの「定期おはなし会」をはちけん地区センターにて実施しており、令和6年度は計12回開催しました。加えて、春に開催の「はちけん春のはあとフェスタ」、秋に開催の「はちけん健康フェスタ」のパフォーマンス部門において読み聞かせを行っており、地域の高齢者の生きがいづくりや子どもたちの健全育成に大きく貢献しています。

札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団 様

札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団は、昭和35年12月に発足し、長きに渡り奉仕活動に取り組んでいます。当初は、スキー人口の増大とともに事故・障害が激増した等により、前身の札幌市スキーパトロール赤十字奉仕団に委託され、スキー場の安全管理を目的に活動してきました。

その後、スポーツ大会団体からの救護支援要請が奉仕団活動の主流となり、平成7年に現名称に変更。スキー事故の防止活動に加えて、今年度で第50回を迎えた「札幌マラソン」では第1回大会から継続して救護救急部門を担うほか、「札幌国際スキーマラソン大会」「北海道を歩こう」などの様々な大会及び障害者スポーツ等の支援活動を行っています。

札幌市赤十字奉仕団 北白石分団 様

札幌市赤十字奉仕団北白石分団は、平成16年の結成以来、20年以上にわたり地域に根ざした奉仕活動が続けており、地域行事への参加や協力を通じて、地域社会の支えとなる活動を展開しています。

主な活動として、公共施設の清掃・美化、高齢者や子育て家庭への支援、防災訓練や炊き出しなど、地域の安心・安全の向上に貢献しているほか、国内外の災害に対し、義援金・救援金の募金活動を通じて支援の輪を広げています。

現在45名の分団員が所属し、令和6年度は年間99回の出動に、延べ269名が奉仕活動に従事しました。これらの取組は、市民の健康と福祉の向上に大きく寄与し、地域の絆を深める重要な役割を果たしています。

札幌市無線赤十字奉仕団 様

札幌市無線赤十字奉仕団は、アマチュア無線を活用したボランティア活動を行う団体で、昭和41年6月に発足して以来、長きにわたり災害時の非常通信活動や防災訓練への参加を通じて、地域社会に貢献してきました。

また、「札幌マラソン」では第1回大会から継続して救護活動の通信をサポートしているほか、「札幌国際スキーマラソン大会」「北海道を歩こう」などの様々な大会においても安全・安心な大会の運営に寄与しています。

令和7年度 札幌市民憲章実践者表彰 受賞者のみなさま

札幌市理学療法赤十字奉仕団 様

札幌市理学療法赤十字奉仕団は、すべての人々の健康としあわせを願い、地域社会における身近な実的事業に組織として奉仕することを目的に、平成20年5月に理学療法士の国家資格を持つ者により組織され、20名程の団員が活動しています。設立以来、災害救助に関する奉仕、保健衛生等に関する各事業への奉仕、社会福祉及び救護を要する者への奉仕など、赤十字の理想を達成するために必要な奉仕活動に貢献してきました。

また、「札幌マラソン」「札幌国際スキーマラソン大会」「北海道を歩こう」等の大会に札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団や札幌市無線赤十字奉仕団と一緒に救護班としてサポートしており、特に参加選手のコンディショニングや障害予防等を医師の指示のもと行い、安全安心な大会運営に寄与しています。

札幌市立真駒内曙中学校・札幌市立真駒内中学校 様

札幌市立真駒内曙中学校、札幌市立真駒内中学校の2校の野球部員は、平成16年から合同で地域の清掃活動に取り組んでいます。

毎年雪解け後の5月上旬頃、両校の40～60名程度の野球部員が協力して、道立真駒内公園内のごみ拾いを行っています。この活動は、「きれいな街・住みよい街」を合言葉に、先輩から後輩へと受け継がれており、地域の環境美化に大きく貢献しています。

三晃町内会 様

手稲区の三晃町内会では、町内会員と近隣住民の健康保持増進と親睦を図ることを目的に「前田三晃ラジオ体操会」を立ち上げ、毎朝のラジオ体操を実施しています。この活動は、令和7年度で35年目を迎えます。

ラジオ体操は、毎年5月～10月のスポーツの日までの期間、朝6時25分から「三晃ぼうけん公園」で毎日開催（雨天中止）され、近隣住民も自由に参加し、平均50人/日ほどが参加しています。夏休み期間中は多くの子ども達も加わり、昨年度までの累計参加者は約17.6万人に至っており、健康づくりを含め地域コミュニティにおける重要な役割を果たしています。

社会福祉法人とらくろ 様

社会福祉法人とらくろは、平成26年から10年以上にわたり、東区北38条東8丁目北光線通の歩道において、毎年春と秋に40名程度のスタッフと草刈りやごみ拾いを行うほか、約800苗の花苗を植えたり、約40か所の花のプランターを設置・管理する活動を継続しています。

また、地域イベントにも積極的に参加し、地域の環境美化やまちづくり活動に貢献しています。

令和7年度 札幌市民憲章実践者表彰 受賞者のみなさま

東月寒まちづくり協議会「童夢」 様

豊平区の東月寒まちづくり協議会「童夢」は、次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで横断的に支える取組を推進することを目的に、平成17年に設立され、本年度で創立20周年を迎えました。

主な活動として、近隣団体と協力した「交通安全街頭啓発事業」や、「農作業（水稻）体験事業」を20年間継続しているほか、先端技術や自然・歴史を学ぶ「未来発見ツアー事業」、警察・消防・自衛隊等と連携した「セーフティフェスタ事業」など、地区内の小学生や保護者等を対象に、多岐にわたる体験イベントを継続的に企画・運営し、地域の子どもたちの健全育成と地域の活性化に大きく貢献しています。

まこまない盆踊実行委員会 様

まこまない盆踊実行委員会は、地域住民の交流と親睦を深めることを目的に、昭和35年の団地造成期から、真駒内上町3丁目商店街が中心となって盆踊りを開催してきました。また、近隣の町内会等に呼びかけるなど拡大を図り、地域の活性化にも取り組んでいます。

子供たちの描いた絵を行燈にして会場に掲げるなどの工夫も凝らし、令和7年度は1万人以上が訪れるなど、幅広い世代の交流の場となっています。地域住民の手作りの品や地元特産物の紹介・販売も行い、地域の親睦に寄与しています。

簾舞一区町内会 様

南区の簾舞一区町内会は、令和4年から年2回（6月、11月）、簾舞一区平成会館で「ワイワイ食堂」（町内会版の子ども食堂）を実施しています。

町内会に居住する子どもや高齢者が一緒に食事やイベント（コンサート等）に参加することを通じ、世代間の交流が図られ、高齢者の孤立化防止や生きがいづくりに寄与するとともに、見守り活動の強化にも繋がっています。

令和7年度 札幌市民憲章実践者表彰 受賞者のみなさま

◆個人（6名）

重本 勇人 様

平成10年に国立函館視力障害センターを卒業し、平成15年6月に「しげもと治療院」を開業され、治療を通して地域の皆様の健康維持や疾病の予防と治療に努められ、現在に至っています。

視覚障害者の自立支援や地域の健康フェアのボランティアマッサージなどに毎年参加し、鍼灸あん摩マッサージ指圧の普及啓発や地域貢献に寄与され、地域の皆様の厚い信頼と指導者として後進の育成に尽力しています。

高橋 照子 様

平成16年に公益社団法人心の里親会・奨学会の趣旨に賛同して入会し、以後21年間ひたむきに活動が続けてこられました。この間、法人の基幹事業である文通で4人の児童と文通を行い、児童養護施設で生活する子どもたちに寄り添い励まし、立派な社会人として自立させるために長期に渡り応援してきました。

現在も児童との文通を継続しており、「施設訪問」や「児童の絵画・書道展覧会」など児童と直接会える機会にも積極的に出席し、子どもたちの健やかな成長を支える無償の活動が続けています。

千葉 悟 様

昭和47年頃（幌西地区連合町内会発足時）に幌西第12分区町内会交通部長に就任されて以来、50年以上の永きにわたり、様々な職や町内会等での活動を通じて、地域の交通安全の推進や普及・啓発活動に熱心に取り組んでこられました。

現在は、幌西小学校の児童を対象に、登校時の交通安全の見守り指導や新1年生の下校時の見守り指導を継続されています。また、毎月の町内会における朝の街頭見守り指導、春・夏・秋の地域住民参加による街頭啓発のほか、警察等と連携した「自転車安全運転講習会」の実施など、地域の交通安全の意識の向上に大きく貢献しています。

津田 恭圓 様

札幌東部仏教会会長を8年（2016年～2024年）、札幌仏教連合会副会長を19年（2005年～2024年）勤められました。

副会長就任時には、多くの文化人を招いた講演会を開催し、札幌市民の文化的教養の向上に努め、また、大通花まつりパレード行進を開催し、寺院子ども会や関係幼稚園等による稚児行列に参加いただくことで、仏教精神に触れ、心の健やかな子どもの育成に大きく寄与してきました。また、地域活動にも盛んに取り組んでいます。

令和7年度 札幌市民憲章実践者表彰 受賞者のみなさま

寺岡 秀晃 様

平成25年4月より、地下鉄環状通東駅やバスターミナル付近、東区北13条15丁目の道路において、毎年春と秋にごみ拾いや草刈りを実施しているほか、毎年春には東光小学校6年生と町内会と連携しながら、約800苗の花苗を植えるなど、地域の環境美化活動を行っています。

これらの活動を地域のリーダーとして、これまで10年以上にわたり継続しており、美しいまちづくりに貢献しています。

新倉 光男 様

平成3年に北海道高等盲学校を卒業し、平成11年4月に「はり・マッサージ健美堂」を開業され、治療を通して地域の皆様の健康維持や疾病の予防と治療に努められ、現在に至っています。視覚障害者の自立支援や地域の健康フェアのボランティアマッサージなどに毎年参加し、あん摩マッサージ指圧の普及啓発や地域貢献に寄与されてきました。

平成22年から特定非営利活動法人札幌鍼灸マッサージ師会南区支部顧問、平成28年から公益社団法人北海道鍼灸柔整マッサージ師会札幌第3地区顧問として活躍されており、地域の皆様の厚い信頼と指導者として後進の育成に尽力しています。
